

東日本大震災ボランティア活動報告書（#5）

日時：2011年8月3日（水）～8月4日（木）1泊2日

活動地：宮城県石巻市

参加者：HY、SW、MT、STの4名（内下線2名がJ-VIPAメンバー）

交通：HY所有車

宿泊：石巻市南境生活センター

旅程・活動内容：

8月3日（木）：19時に早稲田大学に集合、青砥経由で、首都高・東北道・三陸道で翌日1時に石巻市着、南境生活センターにて宿泊。

8月4日（金）：6時半起床、朝食、7時にNPOミーティング参加、8時半に湊中学校に到着し、炊き出しを実施。みなと食堂にて昼食。14時半に作業終了。15時に生活センターに戻る。MTとSTの2名は現地に残り、翌日以降も活動を継続。HYとSWは22時に帰宅。

経費：高速代 13,450円＋ガス代 7,695円＋食糧代 11,643円＋地図書籍代 1,840円 合計
34,628円（累計 292,491円）

※Eatonville 募金から支出

特記事項：

- ・みなと食堂が8月6日で閉鎖されることが決まり、今回は平日の炊き出しということもあって、メンバーの公募を行わず、周辺のメンバーにのみ声をかけた。香港および英国に住む日本人親子を伴い、最後の炊き出し活動を行うために石巻へ向かった。親子は、8月6日まで石巻に留まり、活動を継続した。
- ・今回の炊き出しは、我々を含めて8名で担当し、メニューは残りの日々の原材料を考慮した結果、麻婆野菜、ごはん、コンソメスープ、浅漬け、フルーツポンチとし、これらを160人分提供した。被災者からのリクエストに基づいて、J-VIPAの寄付金から原材料を購入して提供したフルーツポンチは暑い時期でもあり、大好評であった。
- ・みなと食堂で毎回炊き出しを手伝ってくれる千葉氏が制作したメモリアルアートが飾られていた。
- ・みなと食堂は、閉鎖後、コミュニティカフェとして運営される計画だそうだが、詳細は決まっていない。9月末日には施設を市に返還することになっている。
- ・石巻ボランティア支援ベース絆の拠点も、8月半ばには他の場所に移転することが決定している。

以上

PHOTOS



麻婆野菜



フルーツポンチ



炊出し



炊出し



メニュー



メモリアルアート